北海道爬虫両棲類研究会第１３回大会

プログラム

北海道爬虫両棲類研究会では下記の予定で、一般聴講も可能な講演会を行います。北海道ならではの両生類や爬虫類の様々なお話、現状などをお伝えする会となっております。第１３回は佐々木瑞希先生による『日本のカエルとともに暮らす寄生虫』と徳田龍弘先生による『クラウドサイエンス・ハープソン Hokkaido の取り組み』です。

感染症が蔓延している季節となっております。マスク等による自衛をお願いいたします。また、会場受付には配布できるマスクと、消毒用のアルコールをご用意させて頂きますので、必要な方はご利用ください。

場所

北海道エコ・動物自然専門学校 第２校舎Ｂ教室　（〒061-1374 恵庭市恵み野北２丁目１２-7）

https://maps.app.goo.gl/z4xF1Ff7Y6iJWnJi9

１月31日（土）　開演 9:50～

9:50～10:00　開会あいさつ

10:00～10:50　基調講演：日本のカエルとともに暮らす寄生虫　〇佐々木瑞希先生

10:50～11:00　質疑応答

11:00～11:50　基調講演：クラウドサイエンス・ハープソン Hokkaido の取り組み
〇徳田龍弘先生

11:50～12:00　質疑応答

12:00～12:30　北海道爬虫両棲類研究会の総会

13:00～15:30　研究発表・報告・その他

15:30　閉会あいさつ

料金

聴講は無料です。

基調講演・講師紹介

佐々木瑞希氏

1979 年宮城県生まれ。2012 年に北里大学で獣医学博士課程修了。獣医師。帯広畜産大学獣医学研究部門・准教授。ロイコクロリディウムやエキノコックスのほか、野生動物に見られる寄生虫の生活史について研究を行っている。共同研究者の協力のもと、両生類の吸虫、条虫、鉤頭虫の調査も行っている。著書は「寄生虫を守りたい」（2023：dZERO）。

徳田龍弘氏

1975 年北海道生まれ。2000 年に日本大学農獣医学部獣医学科卒業。獣医師。北海道爬虫両棲類研究会会長。野生生物生息域外保全センター顧問獣医師。野生動物リハビリテーター協会理事。両爬と人のコミュニケーター。専門学校で両爬学、野生動物学を担当。著書：北海道爬虫類・両生類ハンディ図鑑、Old world ratsnakes（一章担当）など。

研究発表題（当日に増減及び順番の入れ替えの可能性あり）発表 12 分,質疑応答３分　　発表者に〇

① 岩見沢地域の水田におけるトノサマガエルとヒガシニホンアマガエルの時空間分布特性

〇松原陽・福田信二・中島直久・小川洸生

② アオダイショウによるタイリクヤチネズミの捕食事例

〇永井智也

③ キタサンショウウオの周年における移動と場の利用実態

〇中島直久・浅利裕伸・照井滋晴・太田宏・守山拓弥・木村賢人・宗岡寿美

④ 環境省レッドリスト（第５次）について

〇竹中践

報告：ハープソン Hokkaido 2025 結果発表

〇徳田龍弘

報告：『釧路湿原の開発問題（キタサンショウウオ）（仮）』

〇照井滋晴

番外：野生生物生息域外保全センターについて

〇本田直也

懇親会

費用 4,000 円

懇親会は事前の申し込みのあった方のみとしております。

当日参加は予約手続きで難しいので、申し訳ありませんが、ご遠慮願います。

つぼハ恵み野店にて開催予定。　〒061-1373 北海道恵庭市恵み野西２丁目２－１４